

安倍政権の  
暴走から

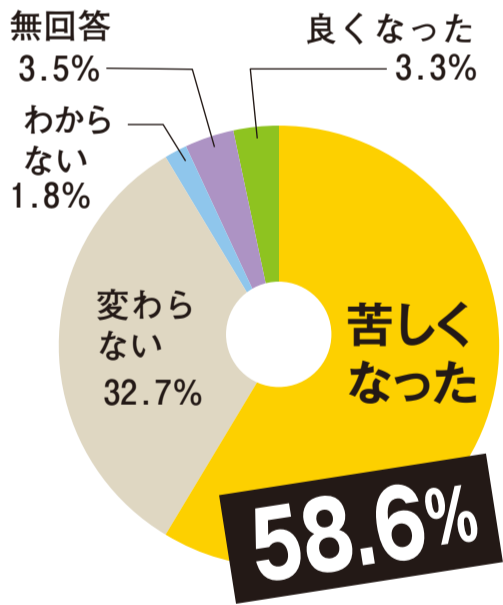
# くらしと福祉、平和を 守る相模原へ **日本共産党**

「市民アンケート」へのご協力  
ありがとうございました



昨年、日本共産党相模原市議団が実施した「市民アンケート」に、2400通を超える回答が寄せられました。12月21日には、アンケートの結果などをまとめた要望書を市長に提出し、市民の願いを市政運営に反映するよう求めました。

**「生活が苦しくなった」**  
この理由では、①年金の減少、②医療や介護の支出増、③税金の負担増、④給与の減少、⑤保育・教育の支出増をあげており、国の悪政や市政による負担増が市民生活を苦しめていることが明らかになっています。



29歳  
**健田 所太郎**  
相模原市議会議員



プロフィール▼1990年相模原市に生まれる。市立田名小・中学校、法政二高、法政大学社会学部卒業。東日本大震災と原発事故をきっかけに、政治や社会問題への関心を高め、みずから行動に参加。2015年統一地方選挙で初当選（1期）。現在、建設委員会、水源地域対策特別委員会に所属。趣味はスキーと旅行。緑区橋本在住。

ブログ連日更新中!  
タドケン通信 検索

「生活が苦しくなった」  
■あなたの毎日のくらし向きは

## 若い力で、 政治を動かす。

この4年間、いのちとくらしに関わるたくさんの生活相談が寄せられました。

消費税増税、防衛費過去最大などの一方で社会保障のカットを続ける安倍政権。国保税や介護保険料、公民館有料化をおこなう一方リニアなどの大型開発を推進する現市政—市民のくらしに目を向けない政治を、ごいっしょに変えませんか？

私は、生まれ育った相模原のために、引き続き市議会の場で、全力を尽くします。

新しい市議会で

## 引き続き力を 尽くします

### ◆くらし応援

- 国民健康保険税1人1万円引き下げ
- 介護保険料、利用料の負担軽減
- 若い世代向け家賃補助制度の創設

### ◆子育て支援、教育の充実

- 保育所、児童クラブの待機児解消
- 小児医療費助成制度の所得制限・一部負担金廃止
- 小中学校の特別教室・体育館へのエアコン設置
- 少人数学級の推進
- あたたかくておいしい、全員喫食の中学校給食

### ◆防災・減災の取り組み強化

- 道路や橋、トンネルなどの老朽化・耐震化対策推進
- 「ひばり放送」の戸別受信機の早期導入
- 境川の早期改修

### ◆基地・平和

- 相模総合補給廠のミサイル部隊司令部撤退
- 米軍機、ヘリの爆音被害解消
- 日米地位協定の見直し
- 米軍基地の早期全面返還

### ◆まちづくり

- バス路線の充実
- コミュニティバス、乗合タクシーの導入促進
- 高齢者向けお出かけ支援制度(バス代補助等)の創設
- リニア建設中止、広域交流拠点整備計画の見直し